

令和6年4月26日  
四国電力株式会社

## 2023年度 連結決算の概要

### 1. 経営成績

#### (1) 電力販売

小売販売電力量は、産業用での自家発電増の影響などにより、前年度に比べ5.3%減の221億70百万kWhとなりました。

また、卸販売電力量は、前年度に比べ10.3%減の83億73百万kWhとなりました。

この結果、総販売電力量は、前年度に比べ6.7%減の305億43百万kWhとなりました。

(単位:百万kWh、%)

		2022年度 (A)	2023年度 (B)	比較	
				前年差 (B-A)	伸び率
小売販売	電灯	7,686	7,491	△ 195	△ 2.5
	電力	15,727	14,679	△ 1,048	△ 6.7
	計	23,413	22,170	△ 1,243	△ 5.3
卸販売		9,339	8,373	△ 966	△ 10.3
総販売電力量		32,752	30,543	△ 2,209	△ 6.7

(注) 決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

#### (2) 電力供給

原子力発電電力量は、定期検査に伴い稼働日数が減少したことから、前年度に比べ5.7%減の65億10百万kWhとなりました。

また、自社水力発電電力量は、前年度に比べ19.7%増の21億40百万kWhとなり、他社からの受電電力量は、13.1%減の127億41百万kWhとなりました。

この結果、自社火力発電電力量は、前年度に比べ2.9%減の108億10百万kWhとなりました。

(単位:百万kWh、%)

		2022年度 (A)	2023年度 (B)	比較	
				前年差 (B-A)	伸び率
自社	利用率	92.4%	86.8%		
	原子力	6,903	6,510	△ 393	△ 5.7
	出水率	73.6%	93.2%		
	水力	1,787	2,140	353	19.7
	新エネ	4	4	0	20.7
火力		11,133	10,810	△ 323	△ 2.9
他社受電 (水力・新エネ再掲)		14,660 (6,140)	12,741 (6,824)	△ 1,919 (684)	△ 13.1 (11.1)

(注) 決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

### (3) 収 支

売上高は、小売販売収入が自由料金の燃調上限廃止や規制料金の見直し等に伴い増加したものの、卸販売収入が市場価格の低下等により減少したことなどから、前年度に比べ458億円(△5.5%)減収の7,874億円となりました。

営業費用は、修繕費や減価償却費等が増加したものの、需給関連費が燃料価格の低下や総販売電力量の減などから減少したため、前年度に比べ1,366億円(△16.2%)減少の7,088億円となりました。

この結果、前年度に比べ、営業損益は、907億円改善の785億円の利益、経常損益は、1,025億円改善の800億円の利益、親会社株主に帰属する当期純損益は、833億円改善の605億円の利益となりました。

(単位：億円、%)

		2022年度 (A)	2023年度 (B)	比 較			
				前年差(B-A)	伸び率		
売上高	電気事業	小売販売収入	※ 5,122	※ 5,409	287	5.6	
		卸販売収入	1,849	1,097	△ 752	△ 40.7	
		その他収入	378	388	10	2.6	
		計	7,350	6,895	△ 455	△ 6.2	
	その他事業	981	978	△ 3	△ 0.3		
	合計	8,332	7,874	△ 458	△ 5.5		
営業費用	電気事業	人件費	459	466	7	1.5	
		需給関連費	燃料費	2,070	1,663	△ 407	△ 19.7
			購入電力料	2,801	1,389	△ 1,412	△ 50.4
			小計	4,871	3,052	△ 1,819	△ 37.3
	減価償却費	458	514	56	12.4		
	修繕費	509	776	267	52.4		
	原子力バックエンド費用	186	184	△ 2	△ 1.3		
	その他費用	1,120	1,265	145	12.9		
	計	7,606	6,260	△ 1,346	△ 17.7		
	その他事業	848	828	△ 20	△ 2.4		
合計	8,454	7,088	△ 1,366	△ 16.2			
営業損益		△ 122	785	907	—		
営業外収益		142	121	△ 21			
営業外費用		245	105	△ 140			
経常損益		△ 225	800	1,025	—		
法人税ほか		3	195	192			
親会社株主に帰属する当期純損益		△ 228	605	833	—		

※小売販売収入には、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」により受領する電気事業にかかる補助金を含んでいる。

(注)連結決算の対象会社

- ・連結子会社(12社)：四国電力送配電、STNet、ケーブルメディア四国、ケーブルテレビ徳島、四国計測工業、坂出LNG、四電エンジニアリング、四電ビジネス、四国総合研究所、四電エナジーサービス、四電技術コンサルタント、SEP International Netherlands B.V.
- ・持分法適用会社(10社)：四電工ほか9社

## 2. 利益配分

### (1) 基本方針

安定的な配当の実施を株主還元の基本とし、業績水準や財務状況、中長期的な事業環境などを総合的に勘案して判断いたします。

### (2) 配 当

2023年度の間配当は、1株当たり15円としました。  
期末配当についても、1株当たり15円を予定しています。

## 3. 次期の見通し

### (1) 業績（連結）

売上高は、燃料価格の低下に伴う燃料費調整額の減はあるものの、総販売電力量の増などから、前年度に比べ、646億円増収の8,520億円と想定しています。

利益については、燃料費調整額が、2023年度の期ずれ差益がなくなることにより、大幅に減少することなどから、前年度に比べ、営業利益は345億円減益の440億円、経常利益は320億円減益の480億円、親会社株主に帰属する当期純利益は245億円減益の360億円と想定しています。

(単位：億円、%)

	2023年度実績 (A)	2024年度予想 (B)	比 較	
			差引(B-A)	伸び率
売 上 高	7,874	8,520	646	8.2
営 業 利 益	785	440	△ 345	△ 44.0
経 常 利 益	800	480	△ 320	△ 40.1
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	605	360	△ 245	△ 40.5
1株当たり当期純利益	294円	175円	△ 119円	—

[前提諸元]

(単位：億kWh)

	2023年度実績 (A)	2024年度予想 (B)	差引 (B-A)
小 売 販 売	222	223	1
卸 販 売	84	154	70
総販売電力量	305	377	72

石炭CIF(\$/t)	195	170	△ 25
原油CIF(\$/b)	86	90	4
為替レート(円/\$)	145	150	5

## (2) 配 当

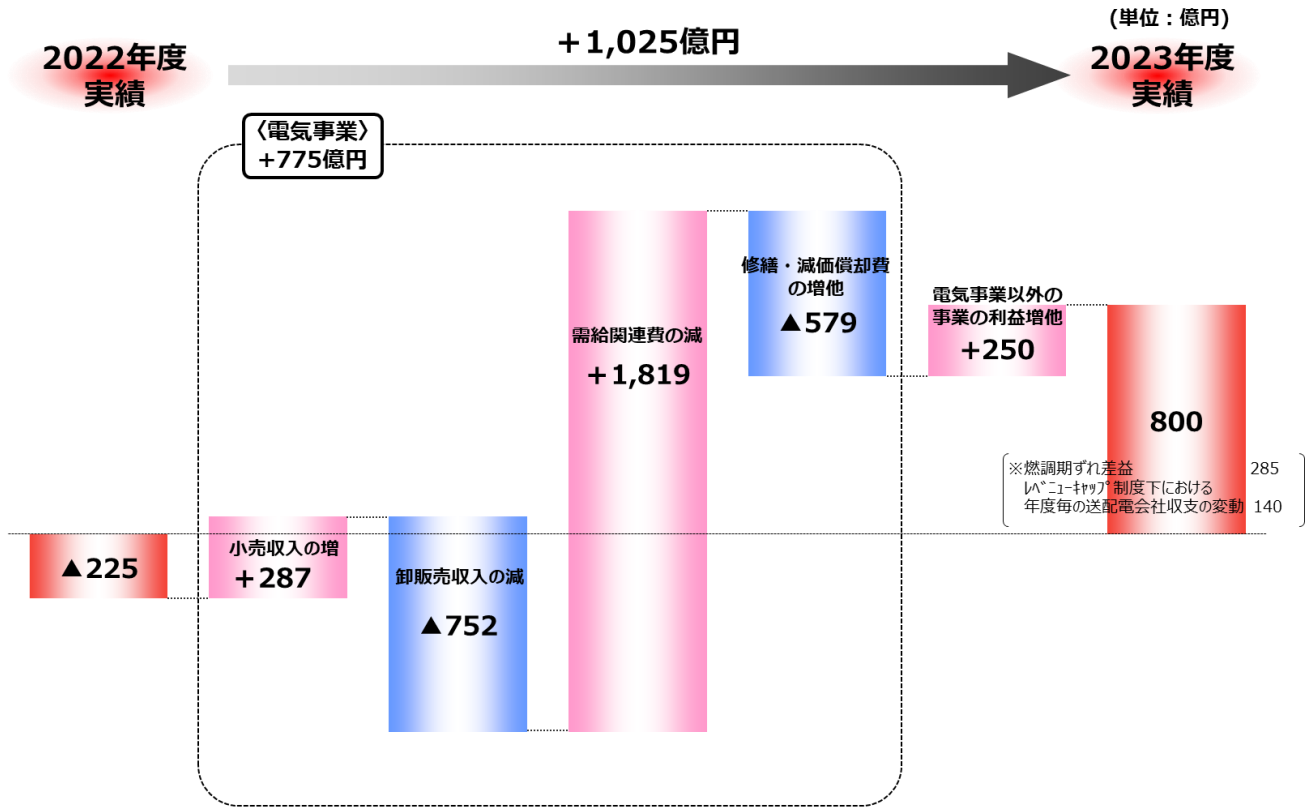
当社は、株主還元方針として、安定的な配当の実施を基本とし、業績水準や財務状況、中長期的な事業環境などを総合的に勘案して判断することとしています。

今回の業績予想および株主還元方針を踏まえ、配当予想については、前年度に比べ、10円増配の1株当たり年間40円（中間20円、期末20円）とします。

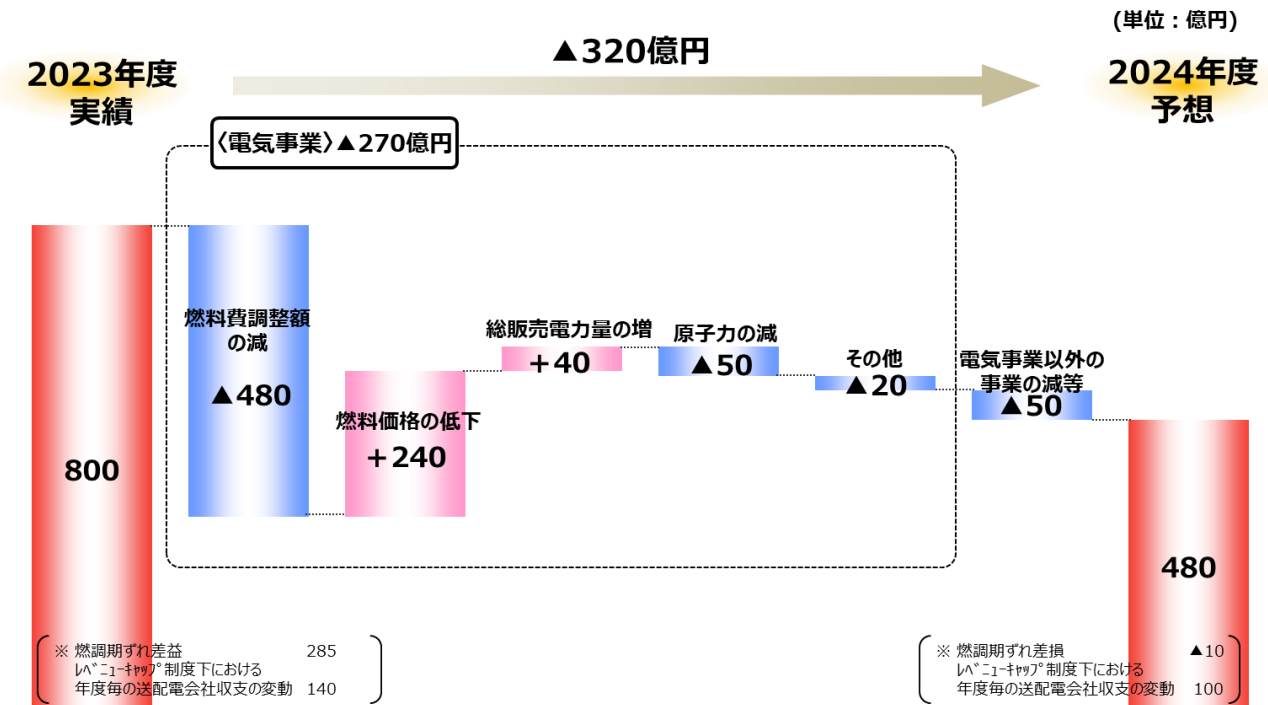
	1株当たり配当金（予想）		
	中間配当	期末配当	合 計
2024年度	20円	20円	40円
(参考)2023年度実績	15円	15円	30円

以 上

(参考1) 2023年度実績と前年度実績との差異内訳 (連結経常損益)



(参考2) 2024年度収支見通しと前年度実績との差異内訳 (連結経常利益)



(参考3) 四国電力単独業績の推移

(単位：億円)

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度予想
売上高	7,236	6,846	7,320
営業損益	△364	391	130
経常損益	△303	515	255
当期純損益	△234	428	210

以上